御影石の風合いと豊かな自然感を生かす・・・

日本建築仕上材工業会登録
放散等級区分表示 F☆☆☆☆
居室内外での使用面積制限はありません

ニッペ ジキトーン 御影

●天然石模様仕上げ塗材

1.高級感あふれる仕上がり
着色骨材（陶磁器質砕粒、大理石砂）を使用し天然御影石の風合いを出せます。

2.すぐれた性能
塗装面との密着性に優れ、上塗りのウレタン樹脂系クリヤーにより、
変色が少なく光沢保持性・耐水性・耐候性・耐汚染性にすぐれます。

3.すぐれた施工性
ALCの表面をニッペセメントフィラーで処理をすることにより施工ができます。
角やコーナー、柱など石貼りでは対応が難しい曲面でも、無駄なく簡単に施工できます。
※ALC面では基材強度が低いので使用量の多い江戸切目地仕上げは、お避けください。

4.幅広い意匠の演出
目地棒の幅は5、6、7、10、15、20、25（長さ1m、厚さ2mm）があり、
自由な目地模様・目地割りが可能（シングル目地仕上げ、江戸切目地仕上げ）です。

■商品体系

工　程	商　品　名	系　統	容　量	色　相	つ　や	塗り面積／缶当たり／1工程	ポットライフ（23℃）
下地調整材	ニッペアンダーフィラーS（目地用）	内外部用下地調整材	20kg	ライトグレー ダークグレー	つや消し	20～33㎡	―
中塗り材	ニッペジキトーン御影ベース	アクリル樹脂エマルション塗料	20kg	10色	つや消し	単色シングル目地仕上げ 3～4㎡（2回塗り）	―
上塗り材	ニッペジキトーンUクリヤー	イソシアネート硬化形ウレタン樹脂クリヤー塗料	18kgセット （主15kg 硬3kg）	透明	つや有り 3分つや有り	180～225㎡	8時間

適用下地	●コンクリート ●モルタル ●PC板 ●ALC板 ●ブロックなど

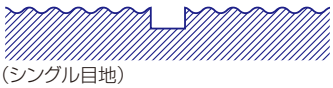
適用個所	●一般内外壁面 ●玄関 ●門 ●塀 ●柱 ●柱型

■複色仕上げ時のA材、B材使用量比率

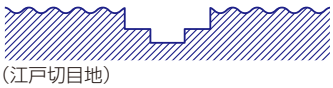
		江戸目地仕上げ（複色）	シングル目地仕上げ（複色）
使用量（kg/㎡）	A　材	8.8	4.85
	B　材	1.55	0.55
A材：B材		85：15	90：10

■目地模様

シングル目地仕上げ


（シングル目地）

江戸切目地仕上げ


（江戸切目地）

■目地色　ニッペアンダーフィラーS（目地用）

ライトグレー（N6.0近似）

ダークグレー（N3.0近似）

■目地棒（幅）

●5mm ●6mm ●7mm ●10mm ●15mm ●20mm ●25mm
※（長さ）1m、（厚さ）2mm

■施工上の要点と注意事項（詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 素地の乾燥は十分に行ってください。（含水率10%以下、pH10以下）
2. 素地に巣穴、段差などがある場合、合成樹脂エマルション入りセメント系下地調整材（ニッペセメントフィラー、ニッペフィラー200）で処理してください。
3. 下地に激しい色むらがある場合に、白に近い中塗りを選択すると、色むらが発生する場合があります。下地の色むらは、塗料などを下塗りに使うことで調整してください。
4. 目地棒は、目地着色剤を十分に乾燥させたあと、貼り付けてください。
5. 仕上げ模様は、施工時の希釈率、吹付け圧、ガンの口径、使用量などによって異なりますので、本施工に入る前に試験吹きを行い、パターン・吹付けのタイミング・使用量などをあらかじめ確認してから塗装してください。塗装は次の要領で行ってください。
   （a）下吹きはフラットに吹き付け、下地を完全に隠ぺいするように均一に吹き付けてください。
   （b）上吹きは凹凸仕上げとし、パターンをそろえながら注意して吹き付けてください。
   ※褐色仕上げの場合
   褐色仕上げは2色以上の斑点ちらし吹きであるため、材料を事前に調査し、本施工に入る前に試験吹きを行い、パターン・吹付けのタイミング・使用量などをあらかじめ確認してから塗装してください。塗装は次の要領で行ってください。
   ●下吹き（A材）
   下地を隠ぺいするように均一に吹き付けてください。
   ●玉吹き（斑点ちらし吹き）（B材）
   B材を用いて斑点ちらしを吹き、2色吹きとなるようにA材に対して均一で、むらのないように吹き付けてください。
   ●戻し吹き（A材）
   B材の斑点ちらし吹きによって生じたむらは、A材をちらし吹きして修正してください。
   追吹きの塗り重ねについて
   A材、B材の追吹き作業する場合は、前工程で吹き付けした下地が乾燥しないうちに、追吹き作業してください。
   （時間は気温、湿度、風などの条件で異なりますが、5分以内位が目安になります。）
6. 吹き付け作業の区切り
   専用の目地棒を利用して適当なブロックで吹き付け仕上げをするようにしてください。（この場合、隣接するブロック面はテープ養生を行い、塗料がつかないようにしてください。）
7. 仕上げ材に使用する2液形塗料は塗料液に硬化剤を加えかくはんし、ポットライフ内に使用してください。
8. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
9. 外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
10. 仕上げ材は溶剤形ですので、塗装時ならびに塗料の取り扱い時は換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
11. ニッペジキトーン御影は厚付けであるため、夜間の気温が氷点下になるおそれがある場合、午後3時までに作業を打ち切ってください。

Basic & New
NIPPON PAINT

ジキトーン 御影

標準塗装仕様

工程		塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
1	素地調整	大きな継ぎ段差、目違いなどは、あらかじめ樹脂モルタルで補修し全面セメントフィラーなどで調整してください。ごみ・粉化物などを除去し、清浄な面としてください。(含水率10%以下、pH10以下)						
2	下塗り(目地着色)	ニッペアンダーフィラーS(目地用)	1	0.60~1.00	16時間以上	水道水	3~8	吹付け(万能ガン/リシンガン φ4~6mm)
							0~2	ローラー

●複色江戸切目地仕上げ

3	墨出し	設計、元請の指示に従い目地割りし、水盛、下げ振りまたはトランシットを使用し墨を打つ						
4	目地棒貼付	専用目地棒を墨に沿って正確に貼り付けてください。						
5	捨吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW A材	1	0.50~1.00	3時間以上	水道水	3.5~5	吹付け(万能ガン φ6~8mm)
6	下吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW A材	1	2.80~3.20	追吹き	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~8mm)
7	玉吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW B材	1	0.80~1.00	追吹き	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~10mm)
8	戻し吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW A材	1	0.50~1.00	—	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~10mm)
9	目地取り	主材表面が乾燥する前(戻し吹き後10分以内)に、目地棒上部の離型紙をとる						
10	サンダー	24時間以上乾燥後、サンダーをかける(P30~40ペーパーを使用)						
11	目地棒貼付	サンダーにより生じた粉じんを除去し、専用目地棒部分に貼付する						
12	下吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW A材	1	3.20~3.70	追吹き	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~8mm)
13	玉吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW B材	1	0.40~0.60	追吹き	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~8mm)
14	戻し吹き	ニッペジキトーン御影ベース JW A材	1	0.50~1.00	—	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~10mm)
15	目地取り	主材表面が乾燥する前(戻し吹き後10分以内)に、目地棒上部の離型紙をとる						
16	サンダー	24時間以上乾燥後、サンダー(P30~40ペーパー)をかけ、サンダーにより生じた粉じんを除去する						
17	目地仕上げ	目地棒を除去する						
18	上塗り	ニッペジキトーンUクリヤー	2	0.08~0.10	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60	はけ・ローラー(ウール)
							50~80	エアレス・エアスプレー

●単色江戸切目地仕上げ

3	墨出し	設計、元請の指示に従い目地割りし、水盛、下げ振りまたはトランシットを使用し墨を打つ						
4	目地棒貼付	専用目地棒を墨出しに沿って正確に貼り付けてください。						
5	捨吹き	ニッペジキトーン御影ベース JS	1	0.50~1.00	3時間以上	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~8mm)
6	上吹き	ニッペジキトーン御影ベース JS	1	4.50~5.00	—	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~10mm)
7	目地取り	主材表面が乾燥する前(上吹き後10分以内)に、目地棒上部の離型紙をとる						
8	サンダー	24時間以上乾燥後、サンダーをかける(P30~40ペーパーを使用)						
9	目地棒貼付	サンダーにより生じた粉じんを除去し、専用目地棒部分に貼付する						
10	上吹き	ニッペジキトーン御影ベース JS	1	4.00~4.50	—	水道水	1.5~3	吹付け(万能ガン φ6~10mm)
11	目地取り	主材表面が乾燥する前(上吹き後10分以内)に、目地棒上部の離型紙をとる						
12	サンダー	24時間以上乾燥後、サンダー(P30~40ペーパー)をかけ、サンダーにより生じた粉じんを除去する						
13	目地仕上げ	目地棒を除去する						
14	上塗り	ニッペジキトーンUクリヤー	2	0.08~0.10	2時間以上	ニッペ建築ウレタン用シンナー	40~60	はけ・ローラー(ウール)
							50~80	エアレス・エアスプレー

※上記の各数値は、全て標準のものです。被塗物の形状、種類、素地の状態、気象条件、施工条件などにより増減しますので、あらかじめ試し塗りをして、確認してください。
※複色シングル目地仕上げの場合は、6~11を省いてください。
※単色シングル目地仕上げの場合は、8~11を省いてください。
※コンプレッサーは3馬力以上のものを使用してください。
※吹付けの場合、万能ガン以外にもタイルガン・リシンガンをご使用頂けます。

安全衛生上の注意事項 (ニッペジキトーン御影ベースJS-610)

横倒禁止

1.本来の用途以外に使用しないでください。
2.使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
3.粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
4.必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
5.この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください 。
6.汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください 。
7.取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
8.適切な保護手袋/防毒マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
9.必要に応じて個人用保護具を使用してください。
10.飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
11.皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
12.皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けてください。
13.皮膚や髪に付いた場合、直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください。/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
14.粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
15.暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
16.緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。
17.容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
18.施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
19.直射日光や水濡れは厳禁です。
20.塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
21.日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
22.内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
23.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。
24.容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

＊上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の商品については、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

危険	危険有害性情報
	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ /発がんのおそれ/生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い/臓器の障害(単回暴露)/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害 /水生生物に有害(急性)

日本ペイント株式会社
お客さまセンター
☎ 03-3740-1120
☎ 06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●当社は2013年9月現在、ISO14001を全事業所で認証取得しております。
●このカタログは、再生紙を使用しています。

●本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
●本カタログ中の商品名・会社名は、日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2013 NIPPON PAINT Co.,LTD All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで 日本ペイント 建物 検索 http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html

カタログNo.
NP-R104
NB130902T
2013年9月現在